

# 文教厚生常任委員会報告書

平成 27 年 9 月 1 日  
委員長 吉住 長敏

文教厚生常任委員会に議会閉会中の調査事項として付託を受けておりました事項について、調査の概要を報告いたします。調査に際しましては、平成 27 年 7 月 28 日と 30 日に、関係部課長に出席を求め委員会を開催いたしました。

## 教育部

### 学校教育課（44 分）

不登校の人数は大きく減少していないが、スクールソーシャルワーカーが家庭に深く入り込み支援している。心の教室相談員も平成 19 年度から各学校 1 名の配置で子どもにとって貴重な相談相手になっている。地域見守り隊が充実しており、他の市町と比べ不審者が出にくい状況にある。加配指導方法工夫改善員を学級担任として配属、1 クラス 35 人以下学級編成を行うなど小中学校生の育ちに大きな成果をみている。高等学校入学支援金では申請者 100 名に対し 72 名の決定者。3 中学校 2 年生ドリームステージは 137 事業所に 605 名が、9 月第 2 週に職場体験を行う。ALT は昨年 9 月から 3 名体制で夏休み期間の英会話教室を実施。さらに学校図書館の一般市民開放を検討しているとの報告がありました。

委員から、不登校のカウントの仕方や対応について、スクールソーシャルワーカーの配置内容、不審者問題で部活により帰宅が遅い時間帯となることへの対応、学童保育の 5・6 年生の需要、充足率が一部 100% を超える状況と指導員の研修、学校プール利用の状況、就学援助の申込みへの対応状況と拡充、学校図書館の開放への方向性、7 月 17 日の台風による休校措置の早い判断に関して意見、質疑がありました。

### 教育総務課（13 分）

庶務係から平成 26 年度教育委員会の点検及び評価報告について、6 月と 7 月の定例教育委員会で評価、その後大学教授に外部評価の作成を依頼しているとのこと。施設管理係から平成 27 年度学校設備工事等の進捗状況について 18 件のうち、発注済みは 10 件、未発注 8 件。うち、花鶴小学校校舎増築工事では 7 月 21 日入札が不成立に。8 月中に再入札すること。〔仮称〕生涯学習センター本体工事は順調に進行、周辺施設、駐車場外構工事は 12 月に契約予定、翌年度の繰越工事予定との報告がありました。

委員から、市役所周辺の横断歩道の押しボタン信号の設置、通学路の除草の対応に関して、通学路安全対策のわかりやすい窓口に関しての意見がありました。

### 生涯学習推進課（1 時間 25 分）

社会教育振興係から、家庭教育支援事業、成人式実行委員の募集についての報告がありました。文化・スポーツ支援係から、6 月 27 日に実施したアートバス、クロスパルこがについて、年間利用実績を過去 3 年間の実績と比較し、昨年度は新宮町にできたスポーツクラブ「リフレ」の影響を受けて利用者が多少減少したが、その後少しずつ回復していること、高齢者向けプログラムの開始やウェルカムチケットの配付、新宮町の療育支援センター「いちばん星」のプール使用開始などが始まっていること、老朽化がすすむ市民体育館の改修を今年度中に実施する

ことなどの報告がありました。市民活動支援センター係から、市民活動団体の登録状況について今年度 74 団体、人材バンク登録は 50 人、つながりサポーター登録は 15 名。つながり広場事業では、つながりカフェ、市民活動支援講座として広報講座、交流会を計画、また 9 月からの後期 20 講座のコスモス市民講座についての報告がありました。公民館係から、新たな生涯学習センターの利用の在り方に資する現在の中央公民館（ホール棟、研修棟）の使用状況、大ホール及び大会議室の使用内訳、中央公民館使用料における減免内容、研修棟使用許可後の使用状況の現状について詳細な報告がありました。

委員から、食育の推進体制の組織のありかた、メディアをテーマとする講演の講師、アートバス親子体験教室の参加者とキュレーターの数、クロスパルのウェルカムチケットの利用状況、利用者のニーズ調査や減免、元気アップチャンジの学童を巻き込んだ広がり、市民活動支援センターの活動登録団体が減っている理由、登録することのメリット、見える形のサービス提供、公民館に関しては、使用料金の体系、キャンセルのルールや減免、館内での飲食、インターネット予約、運営方法に関して種々の意見が出されました。

### サンフレアこが（47 分）

文化財係から、船原古墳遺物埋納坑関係事業の進捗状況、歴史資料館係から、6 月までの自然史・歴史講座事業の報告、8 月以降の自然史・歴史講座及び企画展の事業予定について、高校生インターンシップの受け入れ、図書館係から、子どもの読書週間イベント、本とあそぼう全国訪問お話し隊、読書ボランティア養成講座等に関して報告がありました。

委員から、船原古墳の世界遺産の未来に関して、古文書のデジタル化の現状、図書館の夜間の開館や無人化、I C タグ効果、学校図書館連携、山間部の移動図書館等に関して意見が出されました。

### 青少年育成課（25 分）

青少年育成係から、挨拶をきっかけとし地域で子どもを育む環境づくりをめざす地域つながりあいさつ運動事業、日本の次世代リーダー養成塾、アンビシャス広場づくり、通学合宿、青少年育成団体支援事業、また旧隣保館（鹿部集会所）2 階を青少年育成に利用する方向で関係部署と協議を行っているとの報告がありました。

委員から、見える形のあいさつ運動、次世代リーダー養成塾の参加枠、コスモックスの分館のような形での鹿部集会所の利用方法、通学合宿の他小学校への広がり、地域の子ども会に関して意見が出されました。

### 学校給食センター（60 分）

学校給食センター運営委員会、献立委員会など給食提供事業、6 月に実施した試食会、アレルギー相談など食育推進事業、野菜、米、米粉を一括した地元農産物使用状況、小中学校・センター別の食器破損状況の平成 26 年度・平成 27 年度の数量について、給食調理と配送業務委託契約期間満了にともない、指名型プロポーザル方式で選定を行ったところ、引き続き魚国総本社と 8 月 1 日から 3 年間の契約を行ったこと、連続揚げ物機と焼き物機の更新が 8 月 10 日頃から始まることなどの概要報告がありました。

委員から、配送業務委託の業者選定、弁当の日の日数、アレルギーへの対応、食器破損状況の原因、給食に使用する塩分量、地場産の食材使用、調理員・野菜生産者と児童との交流の機会、牛乳の提供時間変更に関して意見が出されました。

## 保健福祉部

### 福祉課（1時間 13分）

社会係から、災害時要援護者避難支援対策の進捗について、平成27年6月末時点の住民基本台帳上の対象者は5,491人、うち、長期入院者等を除く4,427人が要援護対象者となり、要援護者台帳への登録同意者は3,372人、同意率76.2%であること、第29回を迎える健康福祉まつり、9月17日予定の秋季戦没者追悼式に関する事などの報告がありました。障害者福祉係から、平成27年3月末現在、身体障害者手帳は2,088人、療育手帳は392人、精神障害者福祉手帳は298人の保持状況、障がい者の就労支援に関して、就職者が10人、職場体験者42人、就労支援セミナー3回開催で212人の参加があったことなどの報告がありました。保護係から、3月末時点で710人、487世帯と微増傾向にある生活保護の現況についての報告がありました。この4月から新たに設置された生活再生支援係から、生活困窮者自立相談支援事業で必須・任意事業の内容について、4月から6月で新規37件相談、支援継続17件との概要報告がありました。

委員から、昼間家族が働きに出るなどしておひとりになる要援護者、単身者の人数の掌握、未同意者への働きかけ、生活実態から支援が必要な方として手上げ方式による取扱い、障がい者の就労では、就職先の職種、雇用率、他課との緊密な連携、山口県での障害者施設での虐待問題、ケースワーカーの持ち件数、保護対象者とならない方で自ら相談してきたケースについて、アウトリーチに関連した意見・質疑が出されました。

### 予防健診課（1時間 27分）

健診指導係から、集団・個別の特定健診、7項目のがん検診の健診事業実績及び母子手帳交付等5事業での妊娠時の支援、4カ月、10カ月健診等5事業の乳幼児健診、フッ素塗布、離乳食教室3事業の平成24年度から平成26年度を比較した母子保健事業の実績について報告がありました。健康づくり係から、ヒブ、小児用肺炎球菌など16種類の乳幼児予防接種、また高齢者向けのインフルエンザ、平成26年10月から定期接種化された肺炎球菌の予防接種について、それぞれ平成24年度から平成26年度の比較。ヘルスアップぶらんの取組み表について系統的な説明と、エボラ出血熱疑似症患者発生への対応等についての報告がなされました。

委員から、がん検診とのかねあい2年に1回受診する傾向はないか、定期的治療を行っている方の健診未受診対策、産後ケア1カ月相談件数、社会保険を含めた乳がん検診の受診率、妊娠期ハイリスク者に対する支援について、フッ素塗布、看護大学連携の骨密度測定の経年変化指導、全行政区でヘルス・ステーション設置の目安、保健師の人員体制、健康づくり推進員の今後の役割などで意見がありました。

### 介護支援課（1時間 19分）

介護予防係から、平成27年度見直し事業として90歳の老人の日の記念品支給をやめたこと、これまでの緊急通報システムと安否コールを一本化すること、はりきゅう券について、1,000円施術が広がったこともあり、1000円以上の施術には新たに500円券を発行し、その他は従前どおり1,000円券を利用してもらうことで整理したことなど、また、介護予防に関する人材育成事業に関して7事業の事業推進内容で体系的な説明がありました。包括支援センター係から、寄って館事業で要支援認定者の介護予防サービス計画作成状況、総合相談支援・権利擁護事業、ケアマネジャーからの相談対応の4月から6月までの件数、また9月から社会福祉協議会に委

託により行う市民後見人養成研修の内容、介護予防日常生活支援総合事業に関して平成 29 年度までに移行することなどの説明がありました。介護保険係から、高齢化率が平成 27 年 4 月末で前年度比 1.2 ポイント上昇し 23%になった、高齢者のいる世帯の内訳、要介護・要支援認定率、認定者数、居宅介護と地域密着型の介護予防、さらに施設別サービス利用者数の階層別内訳、介護給付費の状況について介護保険サービス利用状況全般の概要報告がありました。

委員から、老人の日記念品支給のあり方、はりきゅう一部補助の医療的効果と評価、2年後の総合事業移行に向けての多様な担い手の準備について、地域密着型サービスの施設・特別養護老人施設等への受入れ余地の現状に関して意見が出されました。

#### 子育て支援課（39分）

こども係から、平成 26 年度の保育所の入所状況について、合計で 1,020 人の定員に対し入所者は 1,202 人に及んだ。平成 27 年度は、舞の里バディ保育園がオープンし、合計 1,130 人の定員に対し 1,169 人の入所があり、定員充足率は約 103%、新設の舞の里バディ保育園は 110 人定員に 7 月末現在 42 人の入所という状況。鹿部保育所での病後児保育事業は古賀市と新宮町とが合同で行っており、平成 26 年度の延べ利用者は 40 人、うち古賀市からは 28 人、新宮町からは 12 人。最新の 6 月末現在では、延べ 9 人の利用者で古賀市からは 3 人、新宮町からは 6 人の利用。多い疾病は感染症腸炎という状況。子育て世帯臨時特例給付金は 6 月 1 日から受け付けを開始、10 月 9 日が最初の支給。家庭支援係から、つどいの広場事業、乳児家庭全戸訪問事業、子ども発達ルーム、児童及び成人相談件数等の報告がありました。子育て応援サポーター養成事業では 17 人の受講者数の小学校別人数、全 8 回の講座内容の報告がありました。

委員から、定員充足率 120%を超える場合の考え方、病後児保育の今後の拡大予定、待機児童数について、舞の里バディ保育園の開園後の状況、ミニつどいの広場を花鶴学童に開設する考えについて、地域の子育てサロンの把握などに関して質疑がありました。

#### 隣保館「ひだまり館」（31分）

隣保館係から、じんけん平和教室、ひだまりパスポート、韓国文化講座、健康講座の 4 種の地域交流促進事業と、就労サポート講座事業のパソコン 3 講座、地域人権福祉教室事業、及び市内全中学生を対象にしたスタンドアローン（一人で立つ）支援事業で、平成 26 年度の実施内容とほぼ同様に、実施済み含めて平成 27 年度事業の概要説明を受けました。JR ししぶ駅西口側の鹿部集会所 1 階のフローリング化を今年度行う改修工事についても報告がありました。

委員から、スタンドアローン支援事業の約 40 人の参加状況に関して、鹿部集会所 1 階の事業展開の内容、段差解消に関して意見が出されました。

以上、議会閉会中の調査事項として、付託を受けておりました調査の概要報告を終わります。